社会新報（岡山県連合版）

2015年12月1日（毎月1日発行）

社会民主党全国連合機関紙宣伝局（毎週水発行）
〒100-8909 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL03-3592-7515 1部180円月700円〒160

岡山市北区弓之町5－7 Tel.086－226－1234
http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail : sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

発行責任者 武本恒夫

党首選挙の実施要領

社民党は、2016年2月に第15回定期大会を開催。大会は2年ごとで、あわせて党員・協力党員の全員による党首選挙が行われます。

党首選挙の日程は以下のとおり

告示　2015年12月4日（受付）
選挙運動　〃　12月5日～18日
投　票　〃　12月19日～20日
投票方法　①党県連合に投票箱設置
②郵送による投票（送付の投票用紙に記入・18日県連合必着で投函）
開　票　党県連合毎に12月21日
※具体的には、別途送付します。

今年も北の味をご家庭に！好評取り扱い中です

釧路のながきり昆布
200g 1000円
党県連合・支部へ

11月29日 シンポジウム 戦争法廃止運動のこれまでとこれから

社民党・吉田党首が11月29日来岡。午前11時から岡山駅前で街頭アピール、午後2時から「戦争法廃止運動のこれから」のテーマでシンポジウムを開催（主催・党県連合）。パネラーは吉田党首、伊東大輔CUMAゴコロ代表、コーディネイト宮原女性青年委員長で進行した。（文責事務局）

マイクを持つ吉田党首

会場の県総合福祉会館には、女性や若い人も目立ち60余名が参加、「なんと！」高校生の姿も。いままでの党活動になかった広がりを見せた。

進行も吉田党首のユニークな紹介で始まり、「戦争法は、①違憲、立憲主義否定②手続きでも、議事録書き換えなど違法・無効③内容も戦争行為に踏み込み平和主義をかなぐり捨てた史上最悪の政権」と批判。戦争法廃案は野党共闘で参院選勝利の意義を訴えた。

岡山から情報発信してきた伊藤氏は「ターゲットを見据えた、踏み込んだ情報発信を」「持てる資源が活かせてない」など貴重な提言を頂いた。（詳細別途報告）

参院選県対策本部設置

戦争法廃止に全力、参院選で流れを転換！
平和主義の要・社民党の旗を高く掲げて！

吉田党首・福島副党首を先頭に、社民党の旗を高く掲げ、なんとしても子どもたちに、9条・平和主義、民主主義を伝えていくため、社民党の存亡をかけて参院選勝利に全力をあげます。

戦争法廃止のため、参院選・岡山選挙区での野党共闘実現に積極的な役割りを果たし、比例区選挙は政党票（社民党）獲得、紹介者カード集約に全力を上げます。

11月22日、党県連合常任幹事会で、参院選挙・岡山県対策本部を設置しました

「いけんの日」忘れじ

戦争法案（安保法制2法）が強行可決された9月19日を「いけんの日」（日本記念日協会）と定め、「平和への思いを忘れない日」とする、と報じられました（11／15朝日）

総がかり行動岡山は、この日を「忘れることこそキケン」として、毎月第3土曜日を行動日としてきめ、党県連合は全力で参加しています。

メディアの話題が杭データ偽装やテロ事件などで埋め尽くされるなか、先月17日に続き11月21日、イケンの戦争法廃止を求め、市民・団体など200名が参加して駅前集会とデモ行進を行いました。

戦争をさせない1000人委員会岡山・事務局長の大石和昭弁護士は「自衛隊が海外で戦争行為を行う危険性が具体的になっている。平和主義をかなぐり捨てる安倍政権にノーを」と訴えた。

参加団体のマイクリレーで社民党・宮原青年女性委員長は「ウソで成立した戦争法廃止のため一緒に全力をあげる」と力強く訴えました。

街頭アピール後、駅前から山陽新聞社前まで往復のデモ行進し、ショッピングセンタへ続くマイカーでの買い物客や市民にアピールしました。

11月の党県連合活動日誌

11／1　ストップ伊方原発・松山集会（6名）
11／5～6　社民党中国ブロック議員団総会
11／12～13　社民党中国ブロック書記局交流会
11／16　金剛山公演（倉敷）
11／17　社民党中国ブロック幹事会（岡山）
11／18　党県連合街頭宣伝（11.29シンポ宣伝）
11／21　ストップ戦争法！総がかり行動（岡山）
11／22　党県連合常任幹事会
11／25　党県連合街頭宣伝
11／28　脱原発一千万人アクション岡山・映写会
11／28　オールジャパン実現へのシンポ（武本）
11／29　社民党・吉田党首国政報告・シンポ
12／8　世界人権宣言岡山集会
12／15　福島みずほ副党首・駅前街頭演説
12／12・19　総がかり行動・講演・街宣デモ

岡

山駅周辺の長ベンチには一人毎に区分する手摺りが付き、自転車は有料駐輪留めを設置、〝ももちゃり〟は貸出しトップとか。スマートに整備が進む▼ただし「一見」である。歩道に溢れる数の自転車が新設駐輪留に収まったとは思えない。長ベンチに手摺りが付くまでは「ホームレス」と言われる人たちにとってはベッド代わりであったというが今はどうか（各々に言い分はあろうが）▼話は一気に世界へ移る。一連のISのテロは指弾されなければならないが、一方の主張には他方の批判があり、複雑な構図を示す。ある識者は「文明の衝突」を挙げ、あるいは格差・貧困を問い、「対イスラム十字軍」と感情むきだしの主張も▼多くは「なにが起きているのか」と立ちすくむ。恣意的な情報操作の世界ではなおさらである▼先進諸国が最新兵器を投入する戦争の「なぜ」に答える切り口の一つが、市場権益のせめぎ合いか。結果は更なる格差拡大と矛盾の再生産だ。それは身近な形で現れる（の）

定例学習・読者会

「新報」読者会
12月9日（第2水）18時
弓之町「時事問題懇話会」
12月18日（第3金）18時
※聞きたい・話したい人歓迎
いずれも岡山社会文化会館